



主な内容

特集—— 附属病院・附属内丸メディカルセンター新体制

トピックス—— 公共交通事業者へ要望書を手交しました

トピックスプラス—— 卒業式が挙行されました

募金状況報告

フリーページ—— すこやかスポット歯学講座No.31

「小児歯科における齲蝕（虫歯）予防について」

表紙写真：希望を胸に卒業証書を受け取る卒業生

（関連記事P.10）

特集



附属病院・附属内丸メディカルセンター新体制へ

2026年4月、診療機能の再編と強化を目的に、附属病院と附属内丸メディカルセンターは統合し、新体制がスタートします。本号では、統合の背景と各病院の診療体制についてご紹介します。

統合の概要

これまで矢巾地区の附属病院は手術・入院を中心とした高度治療機能病院、内丸地区の旧附属病院を活用した内丸メディカルセンター（以下：内丸MC）は迅速な検査・診断を行う高度外来機能病院として相互に密接な連携を図りながら、岩手県、北東北の地域医療の維持に努めてまいりました。しかし、急性期医療を取り巻く環境の変化や人口減少、少子高齢化、物価高騰等の社会情勢の変化に加え、2025年4月には医師の働き方改革が施行され、医師不足が顕著な本県において、附属病院と附属内丸MCの2病院の診療体制を維持しつつ、地域の医療機関への医師派遣は医師個人の負担が非常に大きいこと、また、内丸地区の建物群は築50年を超える建物が多く、老朽化が著しいことなどの様々な状況を踏まえ、将来を見据えた持続可能な診療体制の構築を図る為、2026年4月1日に内丸MCの医科機能（総合診療科およびリプロダクションセンターを除く）、歯科機能の一部を附属病院に統合することになりました。この病院統合により、高度な医療機能、医療人材を集約し、地域の医療機関との連携を更に強化するとともに、国の政策に基づき医療DXを推進することで医師やメディカルスタッフの業務効率化を図り、大学病院としての本来機能である高度医療・教育・研究・地域医療支援を継続的に発揮し、持続可能な経営基盤の確立を目指しています。

附属病院の診療体制

■ 許可病床数：950床

■ 診療科

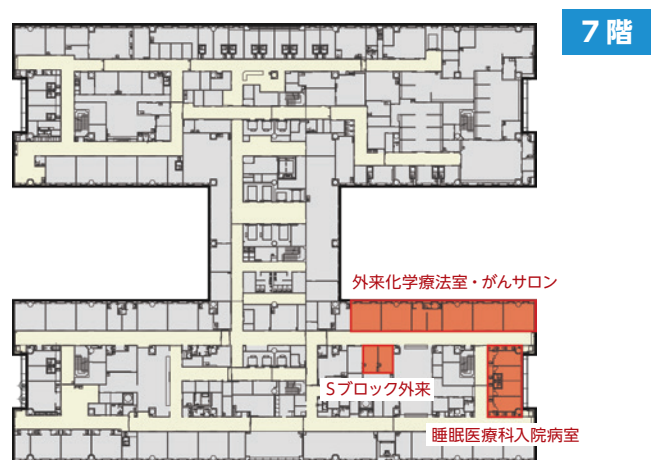
医科	消化器内科／糖尿病・代謝・内分泌内科／循環器内科／腎・高血圧内科／呼吸器内科／リウマチ・膠原病・アレルギー内科／血液腫瘍内科／脳神経内科・老年科／外科／脳神経外科／心臓血管外科／呼吸器外科／整形外科／形成外科／産婦人科／小児科／耳鼻咽喉科／頭頸部外科／眼科／皮膚科／泌尿器科／精神神経科／児童精神科／放射線診断科／放射線治療科／麻酔科／救急科／臨床検査・感染症科／病理診断科／緩和ケア科／睡眠医療科／臨床遺伝科／臨床腫瘍科／リハビリテーション科／総合診療科
歯科	口腔外科／歯科麻酔科／小児歯科／障がい者歯科



■ 病院統合に向けた外来機能の確保

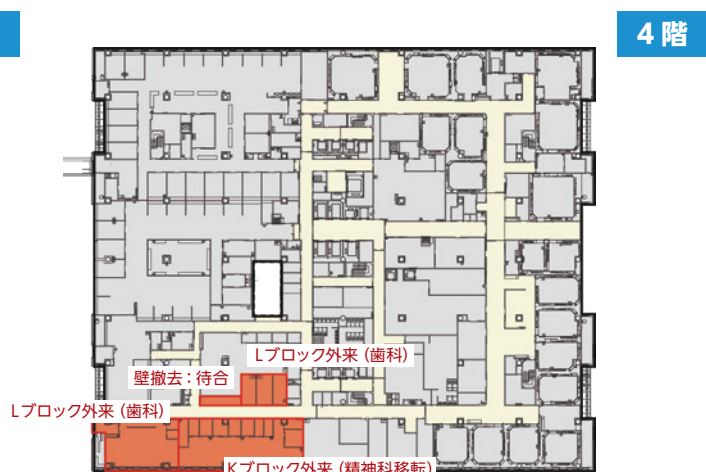
1 外来化学療法センター・がんサロンの移転 (2025年7月実施済み)

2階に外来診察室エリアを確保するため、外来化学療法センターおよびがんサロンを東7B病棟へ移転。移転に伴い病床数を45床から21床に削減。2026年4月から旧外来化学療法センターおよび旧がんサロンはRブロックとして稼働。東7階ではSブロック外来が稼働。睡眠医療科入院病室



2 精神科外来の移転および歯科診察室の拡張 (2026年1月実施済み)

眼科外来拡張のため、Bブロックの精神科外来を4階のKブロックへ移転。Lブロック（歯科診察室）のユニット増設および個室診察室を確保。



3 時間外外来および皮膚科外来の改修

外来診察エリア確保のため、時間外外来エリア改修。またCブロックに皮膚科外来を設置するための改修工事を実施。2026年4月から時間外外来エリアはOブロックとして稼働。



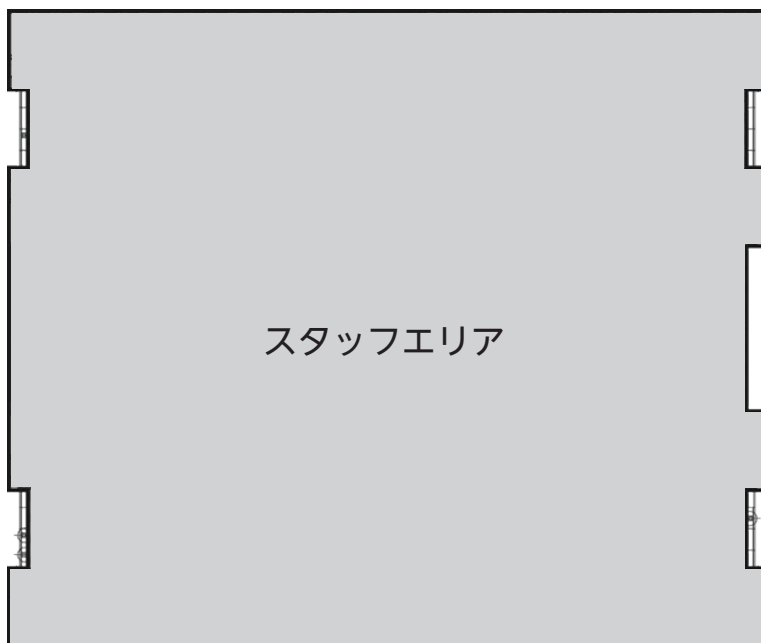
4 MRI撮影装置および一般撮影装置の移設・設置

内丸メディカルセンターよりMRI撮影装置を1台移設。一般撮影装置を1台増設。

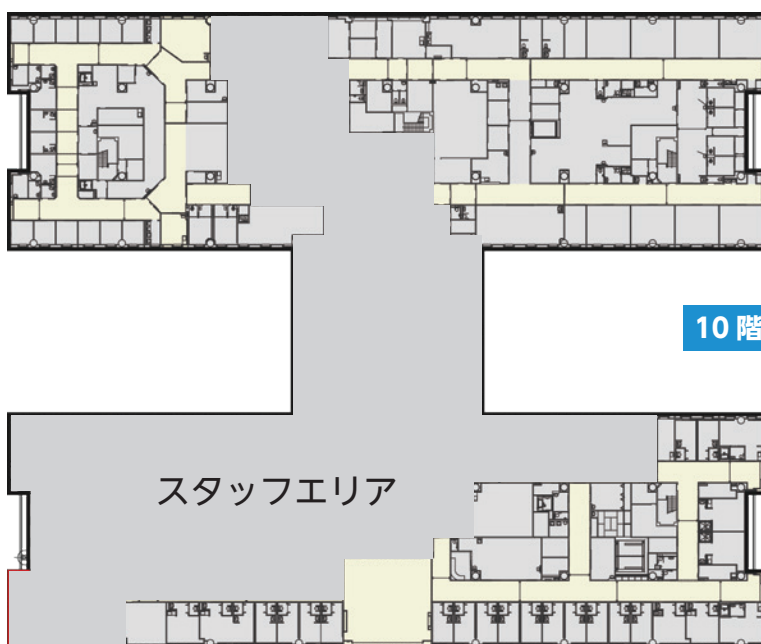
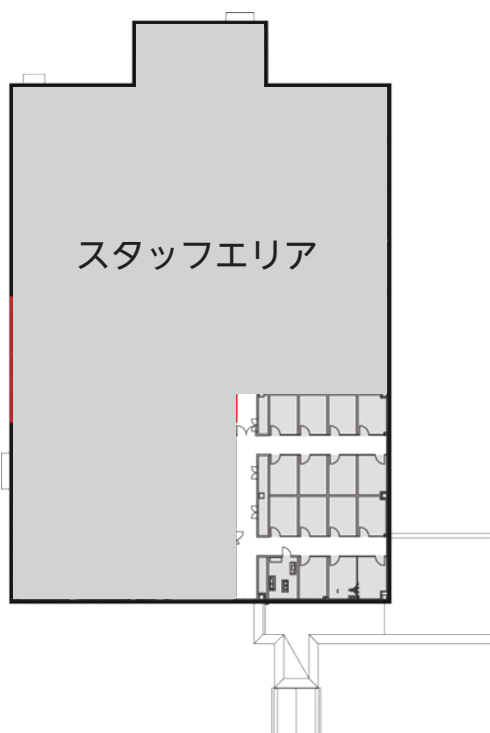


■ 病院統合に向けたその他工事 ……

治験ユニットの拡張、診療情報管理室・病院情報管理課の移転、総合診療医学講座、睡眠医学科、臨床遺伝学科、口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野、口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野の医局新設、口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野医局の拡張、歯科共通医局の移転。



トクタヴェール 2階



内丸メディカルセンターの診療体制

■ 名称：岩手医科大学附属内丸メディカルセンター
(現在と同じ名称を使用)

■ 住所：岩手県盛岡市中央通1丁目2-1

■ 施設分類：無床診療所 ※外来機能のみ

■ 診療科

医科	総合診療科/婦人科 (リプロダクションセンター：生殖医療)
歯科	口腔総合診療科/高度先進保存科 (むし歯・根の治療外来/歯周病外来/予防歯科・口臭外来) /高度先進補綴科/口腔インプラント科/歯科放射線科/矯正歯科



■ 人員体制：医師、歯科医師、看護師、診療放射線技師、歯科衛生士、歯科技工士を配置
※薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士の常勤配置はなし

■ 医療設備

○エックス線装置：現入院棟地下1階一般撮影室にて単純撮影可

○検体検査装置

測定機器	項目名
ビトロス 4600	総蛋白、アルブミン、ワイルドレンジ CRP、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、血清鉄、総鉄結合能 (TIBC)、AST、ALT、ALP、 γ -GT、LDH、コリンエステラーゼ、CK、アミラーゼ、総ビリルビン (T-Bil)、縫合型ビリルビン (D-Bil)、非抱合型ビリルビン (I-Bil)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL-C、LDL-C、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、マグネシウム、無機リン、グルコース、乳酸、HbA1c
Microsemi LC-710	血算、白血球分類
パスファースト	エストラジオール (E2)、プロゲステロン (PG)、LH、FSH、PRL、HCGpreg、テストステロン、hs-cTnI (トロポニン I)
イダテン	尿定性
クロマトキット	インフルエンザ・コロナ抗原検査

○調剤室は無。配置薬と院外処方にて対応

患者用駐車場



医科診療科の概要

総合診療科

総合診療科は、臓器・疾患にとらわれずに幅広く対応することを目指す診療科です。原因不明の発熱、倦怠感、体重減少、浮腫などの症候を呈する患者さんの診療を行っています。身体面のみならず心理・社会的な面も含めて「全人的」に関わり、必要に応じて専門診療科への橋渡しやかかりつけ医師への紹介をしています。

2026年度からの内丸MCでは、主に「プライマリ・ケアとかかりつけ医的診療」を行います。ちょっとした不調や軽いケガなど、大きな病院の前に最初に気易く（来やすく）受診していただく、あるいは病状が安定した方に継続的フォローを行います。

オープン外来

内丸地区での診療を希望する患者さんに対して、総合診療科以外の医師（学内外を問わず）が診療を行うことで、患者さんの利便性と地域連携推進に寄与するものです。

体制

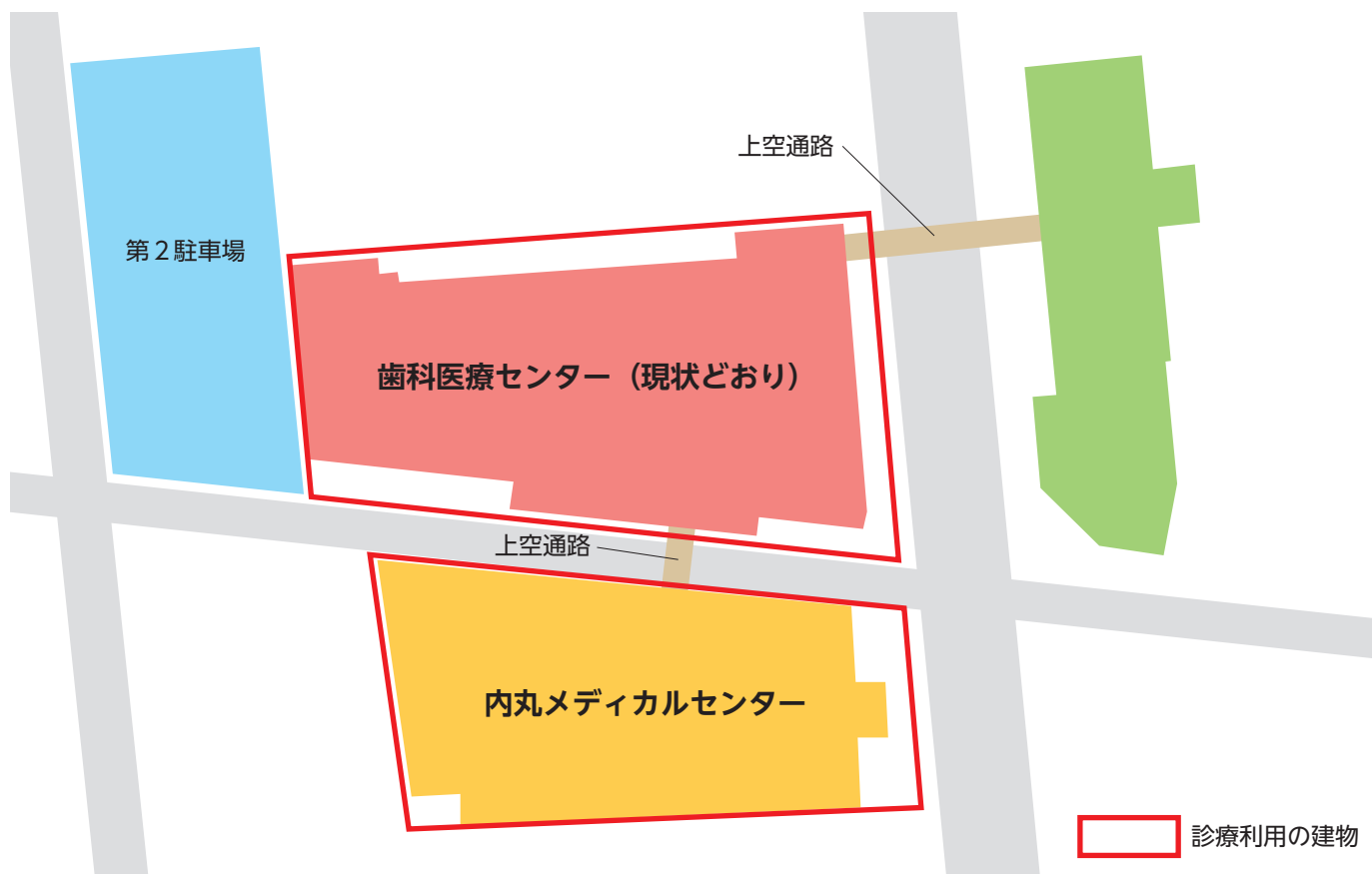
- 内丸MCでの診療を希望する医師に総合診療科で診察してもらう
- ※附属病院医師・非常勤医師（当院OB医師、圭陵会員医師、近隣医師会員等医師を想定）
- ※原則、午前・午後それぞれ1名とし、必要により調整

婦人科

（リプロダクションセンター）

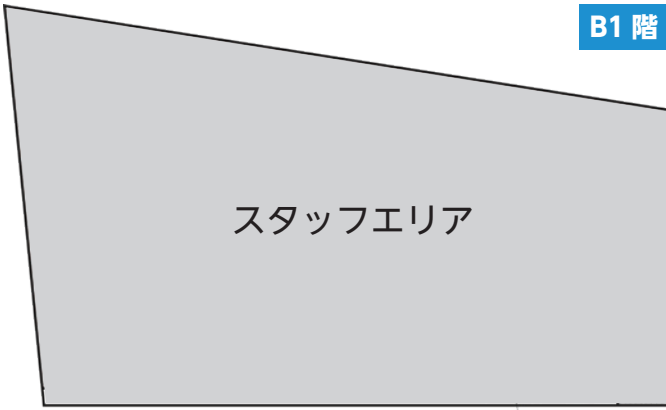
- 内丸MC リプロダクションセンター（婦人科）では、2026年度も引き続き妊娠・出産を希望するカップルに専門的かつ包括的な生殖医療を提供
- 不妊症に関する検査、一般不妊治療（タイミング法や人工授精）、高度生殖補助医療（体外受精や顕微授精）などの生殖医療全般を実施。外来子宮鏡下手術、不妊相談事業も継続
- 子宮筋腫や子宮内膜症などに対する生殖外科手術、また一部高難度の婦人科良性疾患に対する手術はこれまで通り矢巾附属病院と連携
- 子宮卵管造影（HSG）、MRIなどの検査は矢巾附属病院で実施

建物の概要



■ フロアマップ

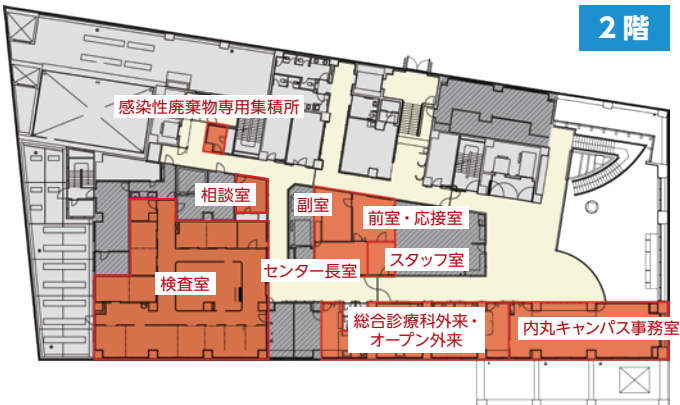
B1 階



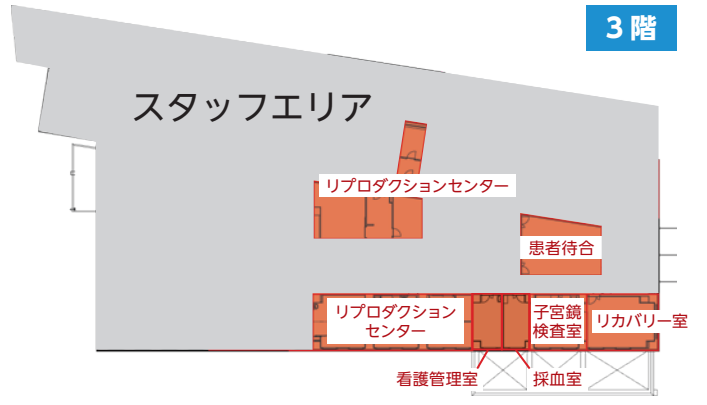
1 階



2 階



3 階



4 階



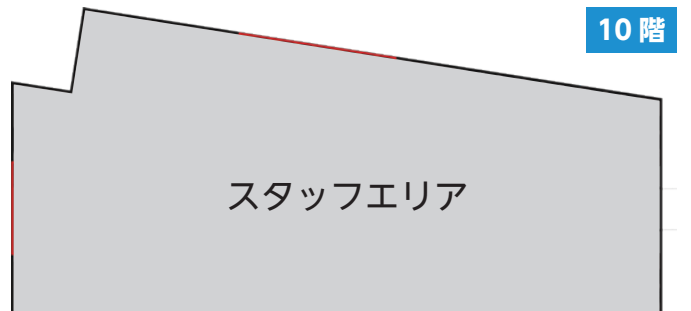
8 階



9 階



10 階



令和8年度一般入学試験等が行われました

令和8年度岩手医科大学入学試験は以下のとおり行われました。

入試区分	日 程	志願者数
医学部一般・地域枠 C,D (一次)	1月20日(水)	3,123名
医学部一般・地域枠 C,D (二次)	1月30日(金) 1月31日(土)	
歯学部一般・共通テスト利用・ 医学部入学試験利用 (前期)	2月6日(金)	
薬学部一般・共通テスト利用 (前期)	2月6日(金)	77名
看護学部一般 (前期)	2月6日(金)	88名
歯学部一般・共通テスト利用・ 医学部入学試験利用 (後期)	3月9日(月)	36名
薬学部一般・共通テスト利用 (後期)	3月9日(月)	4名
看護学部一般 (後期)	3月9日(月)	11名



医学部一般一次試験 名古屋会場

高大連携ウィンターセッションが行われました

12月25日(木)・26日(金)の2日間、矢巾キャンパスにおいて、いわて高等教育コンソーシアムと岩手県教育委員会が主催する高大連携ウィンターセッションが行われました。このイベントは、県内の高校生が県内各大学の教育・研究内容に触れる機会をつくり、各大学で学ぶことができる内容を広く知ってもらうことを目的として平成15年から開催しています。

本学では医・歯・薬・看護学部がそれぞれ講座を開講し、82名の受講者が講義や実習を体験しました。



東講義実習棟で行われた薬学部講義
「食品に含まれる食品添加物とは」

盛岡第一高等学校と連携協定を締結しました

1月23日(金)、盛岡第一高等学校と岩手医科大学の連携協定に係る締結式が盛岡第一高等学校白堊ホールにて執り行われました。

本協定は、令和8年度から盛岡第一高等学校で開講される「医系コース」の実施にあたり、岩手医科大学が持つ医療に関する知識・技術等を活用して専門的な学びを提供することを目的として締結されました。「医系コース」では、高校段階から医療に関する講義やワークショップ、臨床体験等を経験することによって、学生の進学意欲・学修意欲等の向上を図り、最終的には岩手県の医療の担い手を養成することを目指していきます。

小笠原学長は「患者さんの気持ちを考えられる医師としての素質を身につけ、岩手の医療を支えてほしい」と述べられました。



協定を締結した中村智和校長と小笠原学長

公共交通事業者へ要望書を手交しました

2月2日(月)、内丸メディカルセンターの矢巾への機能集約に伴い、本学は岩手県、盛岡市、滝沢市、矢巾町と連携し、東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社及び公益社団法人岩手県バス協会を訪問し、運行ダイヤの増便や乗継利便性の向上など、公共交通アクセスの充実を求める要望書を5者連名で手交しました。

当日は、本学から祖父江理事長が出席し、関係自治体の首長等とともに意見交換を行い、採算性や運転手不足など公共交通を取り巻く厳しい状況についても認識を共有しました。その後、岩手県交通株式会社は4月1日のダイヤ改正において、本学附属病院を經由する便を2便増便することが決定されました。

今後も利用実績を踏まえ、関係機関と連携しながら利便性向上を目指します。



左から：滝沢市長、盛岡市副市長、祖父江理事長、
JR東日本盛岡支社長、岩手県ふるさと振興部長、矢巾町長

最終講義が行われました

2月27日(金)、大堀記念講堂において、3月31日付をもって定年退職される教授の最終講義が行われました。

聴講者は、各教授によるスライドや在職中のエピソードなどを交えた熱心な講義に耳を傾け、名残を惜しまました。講義終了後には、職員や学生から各教授に花束が贈呈され、惜しみない拍手が送られました。

「ヘムとミトコンドリア」

生化学講座分子医化学分野

古山 和道 教授



「冠動脈を撮る！-CTの限らない未来を目指して-」

放射線医学講座

吉岡 邦浩 教授



「当講座における医学研究の歴史-功績と挫折-」

麻酔学講座

鈴木 健二 教授



「消化管希少疾患から学んだこと」

内科学講座消化器内科分野

松本 主之 教授



「みんなの健康・健口考」

口腔医学講座予防歯科学分野

岸 光男 教授



「大学とともに歩んだ43年、薬剤師と薬学教育」

臨床薬剤学講座臨床薬剤学分野

工藤 賢三 教授



「学生と共に岩手県の地域医療のこれからを考えた10年 ~臨床を伝え、患者に寄り添う薬剤師を育てるために~」

臨床薬剤学講座地域医療学分野

高橋 寛 教授



「『行雲流水』とは言い難し」

生物学科

松政 正俊 教授



左から：古山教授、吉岡教授、鈴木教授、松本教授、岸教授、工藤教授、高橋教授、松政教授

ミッフィーが小児病棟に遊びにきました

3月3日(火)、小児病棟において、ナガイレーベン株式会社主催(こずかたサービス共催)による「miffy病院訪問」プロジェクトが開催されました。本プロジェクトは、病と闘う子どもたちとそのご家族に、安らぎや希望、癒やしのひとときを届けたいという思いから実施されているものです。

当日は、ミッフィーとの記念撮影や院内での散歩に加え、歌のお姉さんと一緒に歌を歌ったり、絵本の読み聞かせを楽しんだり、子どもたちが笑顔になれるひとときを過ごしました。かわいらしいミッフィーとの交流は大いに盛り上がり、小児病棟は終始、入院中の子どもたちの明るい笑顔に包まれていました。



ミッフィーとの触れ合いを楽しむ子どもたち

岩手県ドクターヘリ寄付金贈呈式が 挙行されました

3月3日(火)、エネルギーセンター1階会議室において、トヨタカローラ岩手株式会社から岩手県ドクターヘリ寄付金が贈呈されました。

ドクターヘリは本州で最も広い岩手県内で、迅速な初期治療の為に重要な役割を担っていますが、燃料や整備など多額の費用がかかっています。当院では、岩手県におけるドクターヘリの運航体制をより強化・安定化させる為に寄付金を募集し、岩手県ドクターヘリ事業の趣旨に賛同したトヨタカローラ岩手株式会社から100万円の寄付金が送られました。

式では、トヨタカローラ岩手の塚原孝一社長から「本県の救急医療体制の充実と安心して暮らせる地域づくりの一助となればうれしい」と挨拶がありました。



左から：眞瀬教授、森野附属病院長、塚原代表取締役社長、鈴木常務執行役員営業本部長

卒業式が挙行されました

3月6日（金）、トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）大ホールにおいて、令和7年度岩手医科大学卒業式が厳かに挙行されました。式には、本学役職者および教職員のほか、多くの保護者やオーケストラ部・合唱部（7年ぶり）が出席し、卒業生の門出を祝いました。

また、岩手医科大学医療専門学校の卒業式は3月10日（火）、歯学部4階講堂において挙行され、本学校の教職員および保護者が出席しました。卒業生たちは、母校で過ごした日々への思いを胸に刻みながら、新たな道へと歩み出します。医療人として社会に貢献する決意を新たに、それぞれの進路へと巣立っていきました。

■岩手医科大学卒業式

令和7年度岩手医科大学卒業生			
医学研究科博士課程	5名	医学部	136名
医学研究科修士課程	9名	歯学部	46名
歯学研究科博士課程	11名	薬学部	30名
薬学研究科博士課程	2名	看護学部	90名



トーサイクラシックホール岩手大ホールで挙行した卒業式



学位記授与



卒業証書・学位記授与



卒業生代表宣誓



会場の様子

■医療専門学校卒業式

令和7年度医療専門学校卒業生：23名



歯学部4階講堂で挙行した卒業式



卒業証書授与

表彰の栄誉

外科学講座の口田 脩太 非常勤医師が 日本臨床外科学会学術集会において専攻医セッション最優秀賞を受賞しました

この度、2025年11月20日～22日に京王プラザホテルで開催された第87回日本臨床外科学会学術集会において、専攻医セッション全242演題の中から最優秀賞を受賞いたしました。今回発表した演題「深層学習を用いた腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術における手術フェーズ自動認識モデルの構築と評価」では、人工知能（AI）技術の一つである深層学習を応用し、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の手術映像から手術工程を自動的に認識・分類するモデルの構築について報告しました。

本研究により、手術の進行状況を自動かつ高精度に認識することが可能となれば、手術記録の自動化のみならず、若手外科医に対する教育支援への応用も大いに期待されます。具体的には、従来手作業で計測していた各手術工程の所要時間を自動評価することで、個々の外科医の各手術工程におけるラーニングカーブの自動生成や苦手分野の効率的な把握が可能となり、手術中の安全性向上に寄与するナビゲーションシステムへの発展も見込まれます。受賞にあたりご指導賜りました佐々木章教授をはじめ、ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。



口田非常勤医師（左）

（文責：外科学講座 非常勤医師 口田 脩太）

お知らせ 事務局組織改編について

令和8年4月1日から以下のとおり事務局組織改編を行います。

変更前

企画部	企画調整課
	総合情報センター事務室
	総合移転計画事務室
総務部	人事職員課
	総務課
	施設課
財務部	経理課
	用度課
学務部	学事課
	全学教育企画課
	医学部教務課
	歯学部教務課
	薬学部教務課
	看護学部教務課
	研究助成課
	図書館事務室
	入試・キャリア支援課
	いわて東北メディカル・メガバンク事務室
病院事務部	病院企画課
	病院情報管理課
	病院総務課
	医療安全管理部事務室
	医療福祉相談室
	研修センター事務室
	地域医療連携センター事務室
	医事課
	内丸キャンパス事務室
	医療専門学校事務室
内部監査室（事務）	
監事室（事務）	

変更後

法人企画部	法人課
	内部監査室（事務）
	監事室（事務）
人事部	人事職員課
財務部	経営戦略課
	経理課
	用度課
総務部	総合情報センター事務室
	総務課
	施設課
学務部	学事課
	全学教育企画課
	医学部教務課
	歯学部教務課
	薬学部教務課
	看護学部教務課
	入試・キャリア支援課
研究推進部	研究推進課
	いわて東北メディカル・メガバンク事務室
病院事務部	病院経営戦略課
	病院情報管理課
	病院総務課
	医療安全管理部事務室
	医療福祉相談室
	研修センター事務室
	地域医療連携センター事務室
	医事課
内丸事務部	内丸キャンパス事務室
	医療専門学校事務室

理事会報告（1月定例－1月26日開催）

1. 名誉教授の称号授与について

鈴木 健二（麻醉学講座 教授）

松政 正俊（生物学科 教授）

（称号授与年月日 2026年4月1日）

2. 役職者の選任について

副学長（医歯薬総合研究所、研究開発・共創センター担当）

仲 哲治（再任）

全学教育推進機構長 高田 亮（新任）

（任期 仲副学長は2026年4月1日から2年間、

高田全学教育推進機構長は同日から3年間）

3. 大学発スタートアップ・ベンチャーの株式等の 取得体制整備に伴う取扱規程の制定について

政府の第6期科学技術・イノベーション基本計画において、大学には社会課題の解決をもたらすスタートアップ・ベンチャーの効果的な創出を実現するための環境整備が求められていることから、資金難にある黎

明期の大学発スタートアップ等の負担を軽減し、事業活動を通じた研究開発成果の社会還元を支援することを目的として、株式・新株予約権を取得可能とする体制を整備し、大学発スタートアップ等から取得する株式等の取扱規程を制定することを承認した。

（施行年月日 2026年4月1日）

4. 附属病院規程及び附属内丸メディカルセンター規程の 一部改正について

2026年4月の附属病院統合に伴い、附属病院規程については、内丸メディカルセンターの特殊診療部門を附属病院に設置することに加え、診療体制の変更及び各種ガイドラインの改訂等を踏まえ、組織体制を見直すこと、また、附属内丸メディカルセンター規程については、無床診療所への変更等に即した組織体制とすることとし、両規程の一部を改正することを承認した。

（施行年月日 2026年4月1日）

理事会報告（2月定例－2月3日開催）

1. 組織規程の一部改正について

事務局の組織体制について、2025年4月施行の改正私立学校法等に基づく法人管理体制の強化及び経営改善に資する組織体制の構築を目的とし、組織規程の一部を改正することを承認した。

（施行年月日 2026年4月1日）

理事会報告（2月定例－2月24日開催）

1. 役職者の選任について

医学部長 赤坂 真奈美（新任）

教養教育センター長 高橋 史朗（新任）

学生部長 木村 英二（再任）

学生副部長（看護学部） 蛭崎 奈津子（再任）

研究開発・共創センター長 仲 哲治（再任）

（任期 医学部長は令和8年4月1日から2年間、教養教育センター長、学生部長及び学生副部長（看護学部）は同日から3年間、研究開発・共創センター長は同日から1年間）

2. 教員の人事について

臨床薬学講座地域医療薬学分野 教授

松浦 誠（現 同分野 特任教授）

共通基盤看護学講座 教授

佐藤 奈美枝（現 同講座 准教授）

口腔保健育成学講座歯科矯正学分野 准教授

桑島 幸紀（現 同分野 特任准教授）

（発令年月日 2026年4月1日）

テナント紹介

矢巾・内丸キャンパスには多数の店舗が入店し、教職員、在学生、患者さん等へ様々なサービスを提供しています。身近だけど意外と知らなかった各テナントの紹介、おすすめやお得情報を掲載していきます。今回は、芽吹き屋岩手医大病院店とキッチンカーをご紹介します。

STAND by 芽吹き屋 岩手医大病院店 (矢巾トクタヴェール1階)



2026年1月26日、トクタヴェール内に開店いたしました。私たちは、和菓子屋ではなく粉屋です。おいしい生地をつくるための製粉技術を磨き、地元産を中心に、顔が見える生産者の手によってつくられた最高の材料を使った、もちやだんご、和菓子をぜひお試しください。



医療の現場で日々尽力されている皆さまに、忙しい合間でも「ほっと」心がゆるむひとときと、おいしい和菓子をお届けできるよう努めてまいります。当店のご利用をスタッフ一同心よりお待ちしております。



営業時間 月～金 9:00～17:00

TEL 019-681-3457

定休日 土・日・祝

※芽吹き屋ホームページもぜひご覧ください。



キッチンカー (トクタヴェール前広場)

一般社団法人 岩手県キッチンカー協会の加盟店舗による、トクタヴェール前広場での販売を毎月開催 (不定期) しております。から揚げ、たこ焼き、タコス、クレープ、ハンバーガー等、好評出店中です！お昼の選択肢のひとつとしてご利用ください。出店スケジュールは、下記「トクタヴェールLINE公式アカウント」で、ご覧いただけます。



出店予定は、トクタヴェールLINE公式アカウントからご確認ください。

営業時間

11:00～14:00頃まで



岩手医科大学募金状況報告

本学の事業募金に対し、特段のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼申し上げます。ご支援いただいた皆様のご協力に感謝の気持ちを込め、ここにご芳名を掲載いたします。今後とも格別なるご支援・ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。
※ご芳名及び寄付金額は、掲載を承諾された方のみ紹介しています。

学術振興資金募金

第32回目のご芳名紹介です。(令和7年12月1日～令和8年1月31日)

■ 法人・団体等 (2件)

<1,000,000>
株式会社 高宮商店 (岩手県盛岡市)
<58,601>
岩手医科大学附属病院看護部
木の花会・看護職員一同 (岩手県紫波郡)
(敬称略)

■ 個人 (5件)

<400,000> 内村 忍 (医22)
<100,000> 小笠原 直美 (一般)
河田 清寛 (歯3)
<ご芳名のみ>
鈴木 一幸 (名誉教授)
宮田 恵 (医38)
(順不同、敬称略)

区 分	申込件数	寄付金額 (円)
圭 陵 会	539	287,228,220
在 学 生 ご 父 母	406	97,520,000
役 員 ・ 名 誉 教 授	47	113,230,000
教 職 員	49	7,640,000
一 般	30	489,153,572
法 人 ・ 団 体	333	443,464,082
合 計	1,404	1,438,235,874

(令和2年9月1日～令和8年1月31日現在)

歯学部支援基金を通じた寄付

第3回目のご芳名紹介です。(令和7年12月1日～令和8年1月31日)

■ 法人・団体等 (2件)

<280,000>
圭陵会 宮古支部 (岩手県宮古市)
<200,000>
歯学部同窓会 兵庫県支部 (兵庫県神戸市)
(敬称略)

■ 個人 (28件)

<1,000,000> 福岡 徳生 (医10)
吉田 智子 (歯19)
<300,000> 笹森 源弘 (医16)
<100,000> 坂井 清隆 (歯32)
坂井 典子 (歯32)
小原 賢一 (歯25)
中居 賢司 (医23)
藤倉 裕志 (歯4)
<50,000> 志田 杜人 (歯6)
平山 脩 (歯1)
大口 正明 (歯1)
<30,000> 橋本 晏理 (父母)
<10,000> 内田 良夫 (歯32)
<ご芳名のみ>
白岩 和香苗 (医49)

区 分	申込件数	寄付金額 (円)
圭 陵 会	90	10,689,000
在 学 生 ご 父 母	13	1,470,000
一 般	1	100,000
法 人 ・ 団 体	6	3,610,000
合 計	110	15,869,000

(令和7年7月1日～令和8年1月31日現在)

菊池 洋 (医22) 倉田 英生 (歯18)
中村 芳章 (歯40) 久保 宮幸 (歯18)
中村 亜里紗 (歯41) 増田 英代 (父母)
天野 昌子 (歯10) 中川 めぐみ (父母)
新出 英幸 (歯12) 永野 弘之 (歯15)
岩淵 安信 (歯4) (順不同、敬称略)
小泉 光子 (歯2)
古玉 芳豊 (歯12)
菅原 光孝 (歯16)

岩手県ドクターヘリ寄付金

第2回目のご芳名紹介です。(令和7年12月1日～令和8年1月31日)

■ 法人・団体等 (2件)

<ご芳名のみ>
たぐち脳神経外科クリニック (岩手県盛岡市)
トヨタカローラ岩手 株式会社 (岩手県盛岡市)
(敬称略)

■ 個人 (1件)

<ご芳名のみ>
佐藤 亘也
(敬称略)

総合案内

総合案内は、看護師2名・看護補助者1名・コンシェルジュ2名で構成され、来院されるすべての方々へ、個々の状況に応じた丁寧な案内を提供する部署です。主な業務は、初診・再来・入院の受付場所や院内のご案内をはじめ、紹介状をお持ちでない方の受診相談、予約外受診の受付、お電話による受診相談への対応など多岐にわたります。私たちは常に医師や外来看護師と密に連携し、適切なトリアージを行いながら、丁寧な対応と安心感のある看護提供に努めています。岩手県は高齢化率が高く、1人で受診される高齢者の患者さんも多くいます。安全に安心して診療が受けられるよう、移送援助や誘導を行い、転倒の危険防止を図りながら、多職種と協働して支援を行っています。現在、外来患者数は1日1000人前後、予定入院患者数は1日100人を超える日もあります。2026年4月の内丸メディカルセンター病院移転・

統合に伴い、さらなる患者数の増加が予想されます。今後も、来院される患者さんやご家族のニーズに寄り添い、円滑に診療が受けられるよう、他部門・多職種との連携を強化しながら支援していきたいと思っております。

(主任看護師 西塚 希和子)



東8階B病棟

東8B病棟は看護師32名、看護補助者3名、受付事務員1名で構成され、病床数57床で眼科、形成外科、放射線科を主とした一般病棟です。

眼科は白内障や緑内障手術を目的に県内外から年間1,500人を超える患者さんが入院されます。形成外科は乳癌手術後の再建術、足壊疽、褥瘡、外傷等の手術を行い、患者さんのQOL向上を目指しています。放射線科は検査診断による患者さんの不安な思いを受け止め、症状の観察と精神面の支援を行っています。

手術前後やがん化学療法、検査に臨む患者さんの訴えを傾聴し患者の年齢層に応じた看護の提供ができるよう、多職種と連携し退院後の生活を見据えた関わりをチームで行えるよう努めています。医師、看護師、薬剤師や管理栄養士が一丸となって、患者さん、

ご家族の不安に寄り添い、丁寧な言葉かけ、優しさと思いやりのある看護により、患者さんが笑顔で安心して過ごし安全に医療が受けられる病棟づくりを心がけています。

(主任看護師 細川 千裕)



岩手医科大学報編集委員

祖父江 憲治	藤村 尚子
影山 雄太	高橋 慶
松政 正俊	阿部 俊
齋野 朝幸	杉下 佳子
藤本 康之	石森 由樹
白石 博久	高橋 淳美
佐藤 泰生	伊藤 祥子
佐藤 仁	稲垣 学人
藤澤 美穂	高橋美季子
細田留美子	松田 悠史
畠山 正充	

編集後記

私事ながら、本学の写真部と管弦楽団（以下オケ部）の薬学部顧問を務めています。両部ともコロナ禍で丸3年間の活動自粛を余儀なくされましたが、2023年度より再開しました。オケ部では、コロナ明け2か月で定期演奏会を成功させた執行部がこの春卒業。その先輩を、1～5年生の団員26名と、コロナ禍で廃部となっていた新生合唱部が、実に7年ぶりとなる国歌・校歌の生演奏で見送りました。改革や刷新が叫ばれる時代だからこそ、守るべきものの、取り戻すべき伝統があることを実感し、思わず目頭が熱くなりました。本学の揺るぎない伝統の上に、新年度の更なる成長と深化を期待します。

(編集委員 白石 博久)

岩手医科大学報 第564号

発行年月日/令和8年3月31日

発行/学校法人岩手医科大学

編集委員長/祖父江 憲治

編集/岩手医科大学報編集委員会

事務局/総務部 総務課

TEL. 019-651-5111(内線5452、5453)

FAX. 019-907-2448

E-mail:kouhou@j.iwate-med.ac.jp

印刷/河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7

TEL. 019-623-4256

E-mail: office@kahoku-ipm.jp



口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野 講師 齊藤 桂子

小児歯科における齲蝕^{うしよく}（虫歯）予防について

■ はじめに

多くの小児は歯科医院に対して「怖い」「痛い」などと考えていることが多く、それは歯科医院の雰囲気であったり、苦痛な体験を思い出したりして恐怖や緊張を感じることに起因するといわれています。当科では、近隣の歯科医院にて齲蝕治療が困難だった方も数多く受診されており、その中でも「歯科医院での麻酔が痛かった」「麻酔をすることができなかった」「治療が痛かった」とはじめて受診される小児の保護者が訴えるケースが多々あります。局所麻酔は、治療時に痛みを感じさせないツールとして有用ではありますが、小児は苦手なことも多く、これを回避する方法の1つとして「齲蝕を作らない」ということが挙げられます。

■ 齲蝕予防

齲蝕予防には、歯口清掃、食事指導、フッ化物の応用（図1）、小窩裂溝填塞（図2）などが挙げられます。まず歯口清掃では、細菌によって歯面に形成されるプラークを除去することが齲蝕予防には有効とされているため、当科では歯科衛生士によるブラッシング指導やプラークの機械的な除去を行っています。また食事指導では、プラークの基質となるスクロースの摂取制限も重要で、小児の間食の回数や内容を精査し、口腔内のスクロースの滞留時間を少なくし、より良い口腔環境になるように指導を行ったりもしています。



図1 フッ化物の応用



図2 小窩裂溝填塞

定期的な受診をされている小児に対しては、歯面のプラークの機械的除去後に、歯質を強化するために歯に対してフッ化物塗布を行っています。このフッ化物は、酸による脱灰から歯を守り、さらに再石灰化を促進させる効果があるとされています。また、永久歯萌出後には、齲蝕に罹患しやすい臼歯の裂溝に対し材料を使用し物理的に封鎖を行い、齲蝕予防したりもしています。

■ 最後に

様々な方法を使用し、当科ではお子さんが齲蝕になることを予防しています。ご家庭で、お子さんと一緒に歯磨きをしたり、間食の取り方に注意を配ったりするだけでも齲蝕予防になるので、お子さんと実践してみてください。